

開発理念

「金具類及び金釘無し棺（LABO棺）」天九シリーズ

亡くなられた方が火葬中にどのような状態であるかをこれまでに何十件となく確認した。小さなお子様から老齢の大人まで様々である。

火葬での炎の光の中、目が慣れ火葬炉内部の状況が目視できるようになってきた。強烈な光景が今でも忘れられない。火葬中にお棺から出る釘や金具が飛散し、故人の頭や顔そして身体に刺さっている。その凄まじく痛々しい状況が頭から離れず連夜に渡り夢にまで現れるようになった。

故人の叫びや助けを求める声が魂の叫びとなって聞こえてくる。その悲痛な訴えを受け止め、解決することが私の使命であると決意した。

お棺は葬儀に欠かすことのできない大切なものであり、使用するお棺はご遺体を痛めないものであってほしい。その願いを叶えるお棺が遂に完成した。

お客様や葬儀社の皆様は「金具類及び金釘無し棺（LABO棺）」を選択して頂くことにより、故人の尊厳、魂の尊厳を厳守して頂くことを深く願っている。

令和3年3月吉日

株式会社e・LABO

会長 山下 健詞

